

北
斎
漫
画

5²⁰
202.

四

138

VOL 4
HOKUSAI MANGWA
HOKUSAI
DATED 1817

754.1
H8
c.2

683

物に富むる書はた大なるは。形は存はしき事あり。而
形は多し。と富むる古人の風。古物乃雅意を知るも。い
ふまに。今や高飾哉。先生曰。此は。下乃我。我が。か。首。く
爾。く。さ。事。に。皇。形。の。人。臨。本。に。今。さ。ん。は。遠。人。先。主
二。種。を。集。む。と。邂逅。事。あ。は。毎。に。山。中。人。物。を。さ。り。め。る。事。也
答。財。に。富。な。ま。で。隠。事。と。て。二。種。を。字。様。彫。て。以。門。人。に。授。け。し。事
乃。様。楷。た。し。む。と。成。を。信。に。漸。と。う。編。を。好。み。又。四。書。を
及。び。て。事。に。序。辭。と。さ。ふ。茲。め。お。わ。く。と。神。を。熟。看。に。前。れ。て。は

山陰先生集

二

一、密画にて真なり。二、編を草画にり。三、草を妙なり。
 又、絵は畫國字の二象なり。畫は繪を以て、画は畫を
 以て。画乃行也。画を真なり。画に畫は三編を畫
 行を画。四編にきて、草、行、草、行の善なるを、
 一、二、三、四編にて、古人より、まこと、行と名け、行と
 名け、れ、まこと、行と名け、行と名け、まこと、行と名け、
 次々と、まこと、行と名け、まこと、行と名け、まこと、行と名け、
 師より、まこと、行と名け、まこと、行と名け、まこと、行と名け、

緯山漁翁識





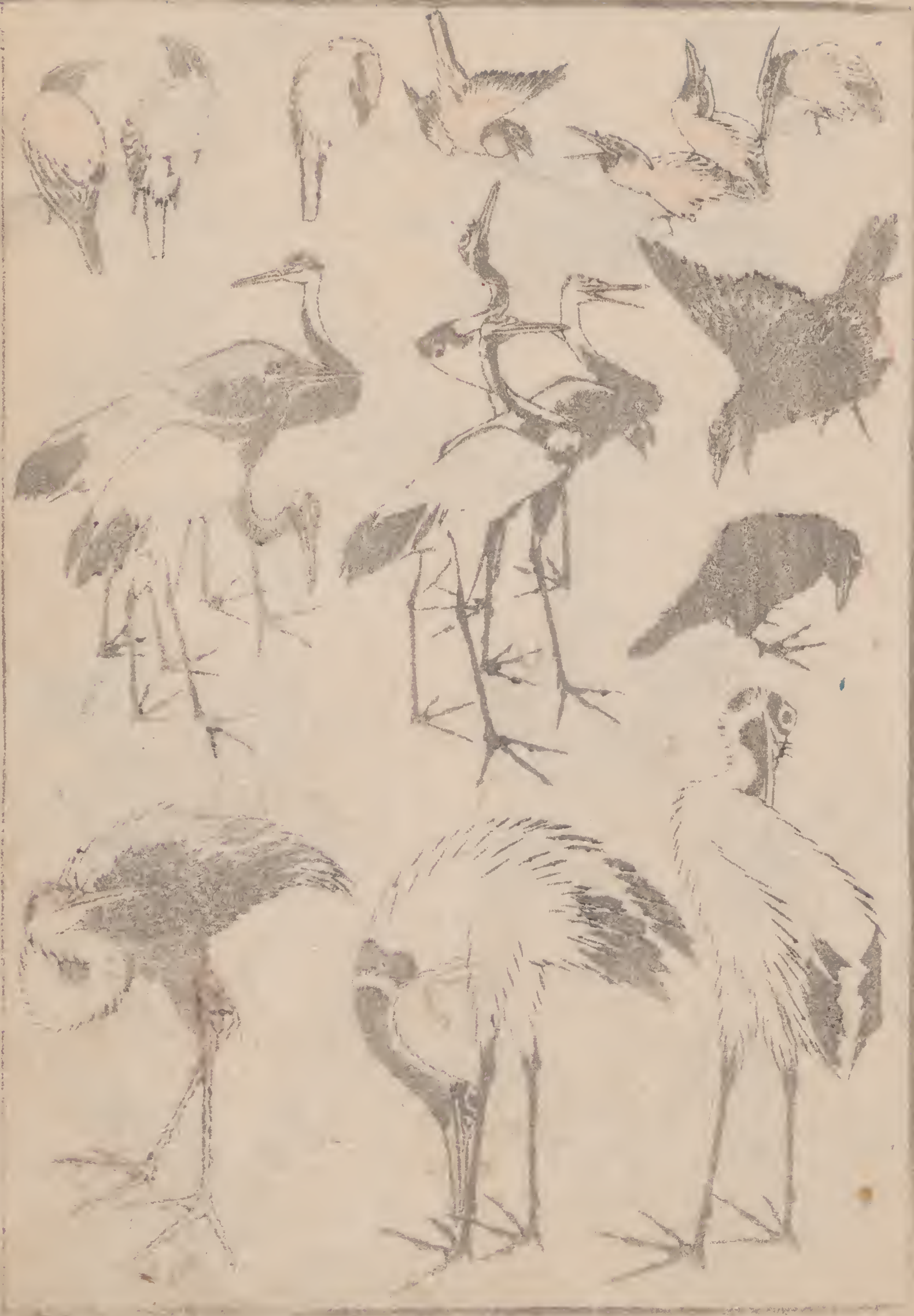






北
齊
書
卷
四
第
四
十
四
回







睡蓮
ひびき



虎杖
こざ





竹の葉と花



竹の葉と花







北窓圖
四
分







十二支



















浮腹卷



太公望



蘇武



西伯



孫農



伯夷



狸々



陶淵明



杜子美



山谷



扁鵲



和



伯樂



赤齊



顏子



曾子



子思



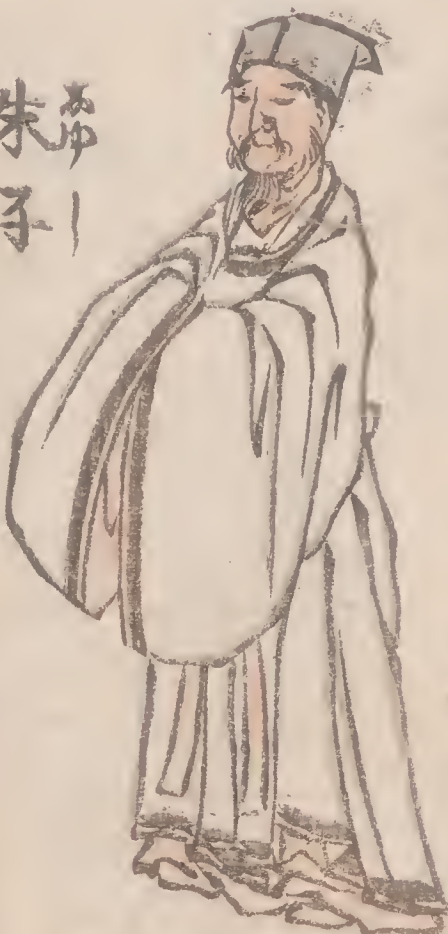
周公



張子



朱子



孟子



程子



周子



韓退之



邵康節



歐陽永叔





松明
たいまつ

火渡
ひしり



鐵火
てつ

釣蠟燭
つりろうそく



江都書林衆星閣藏板目錄

新刊平川武目
書物問屋
角丸屋甚助

金匱要略輯義 法眼多紀先生著

秋ハハ事ヤクオモゴト云トモク 名家の強氣委く強ト先生の考を以て金匱の證

掌詩學筌蹄小林順信卿著

折本
冊

[illegible]

十七帖

王羲之の草書十七帖、第一と書と書あふ
まふふようそてわんや

狂詩碎錦 六樹園先生著

小本全二冊

滑川談
大峰冢田先生著

全
冊

文例
用文
例率
證
北山先生著
全四冊

孔子系譜全圖 露木直信撰 一枚

孔氏の始祖黄帝より聖人一考の徳は嫡家歷代
行聖公被表封條にとりてなをさるより文誦乃
孫賢達の人この傳成あやせりまへて孔氏
家のしを考ふとあらざ便あり

杏園詩集
蜀山先生著
近刻

同
文之集秀
右同
同

入官第一義

聖道辨物 右同 全三冊

庭訓往來捷注 駒龍先生著 全二冊

古狀揃捷注 全一冊

實語教捷注 同

同 證注 全冊

新撰碁經大全 秋山仙朴著 全三冊

武家法度 全二冊

增補徳義集 大本 四冊 小本 四冊

北齋漫画初編 全一冊

同 二編 全一冊

同 三編 全一冊

同 四編 全一冊

同 五編 全一冊

同 六編 全一冊

關流算法點竄指南 梅田西先生撰 全三冊

增補塵劫記 全一冊

とせ成書更科紀 全一冊

挑隣句選七卷集 中本 一冊

俳諧田舎日 挑隣先生著 小本 一冊

俳諧四季名々勢 寸珍懷中 全一冊

鐘問齋老人著 全一冊

書札獨稿 古 岩田夫山先生書

色紙形詩歌 右同 墨帖 一本

ちび燭 右同 大本 一冊

官神廿八品倭歌 右同 經冊 一冊

法隆寺文集 右同 大本 一冊

風月性集 右同 大本 一冊

面責性集 右同 大本 一冊

古狀揃獨替古 右同 大本 一冊

[illegible][illegible]

あを廟より且こる谷補ひ固そもの
かたをふ一二三の合を致したる
まのまを致したるまを致したる

[illegible][illegible]

市井商賈而時めいしを學べし大正
の思ひをあらはれしと勸篇をかき終へ
拍を拂いどろろとす

大本
一冊

女今月入

通俗排悶錄 六樹園譯 十冊

孝行 忠義 貞烈 友愛 琦行
 明断 義俠 玩世 仙縁 靈異
 讀書 八清の孫 殊がさくありまぐく
 明のよき者なり

源注餘滴
六樹園著
全二十卷

源氏物語のどけふもいとくはれ又を引て洋子
バ―古位とも小あまうと強きるを子細小あまうと心引

勢の^{なり}を^し神^の各^の生^の死^の附^の離^のを^し滅^の月^の抄^の岨^の入^の楚^の
を^しより^の人^の大^の公^の者^のふ^のより^のて^の其^の義^のを^した^のる^の古^の古^の乃^の

初編
二編

[illegible]

六樹園漫筆

文狂
何處はなまゝ
同著
塵外接清澄披 全三冊
こゝろ人ききなきをうかきむるもふきとらうとならう
はかり物なきをひらびわうにとものみよりとるこゝろ
かくみおえきよく二またこのおもとみあふよくよもあふ
ふ人ハのうらふきとらうをききとるあり

全
一
冊

四季の御趣より意難ふけるまをとりきあるを
のそえすひて小蛇もかまげふふをわやまふき
樹をちよりのかともふき盡あり

全四冊

以集^ひ成^{なり}和^わ安^あ永^{えい}のはよりいふまでもなく、
 なちふさうなり、和^わ安^あの歌^{うた}の人^{ひと}ぐのたふむとふよと出^いで
 をもまゐくぬきまゐくあけらんかめらをもめあまこゝろ
 にあふねむとくうちまよりこよみのなりまゐるさうけ
 與^{きう}あるうさどもありまふその人^{ひと}ぐの歌^{うた}の集^{あは}の
 めき出^いたまふささぐ、木^きふえりておしる人^{ひと}あまらるねを
 むきまゐる五月^ご月の集^{あは}ともく、ふきだすあまね相^ああ
 集^あさうの集^あ、あまのこゝろはなん見^みとさるたふひあ
 あまんとありたまふ

六樹園撰

秀逸の程、款小月、像をそく井よりそ奈良の寺、附くうの
感笑、款中、若の俳諧、款近代、名、あ、人、く、乃、程、款
と、く、り、から、き、ふ、ろ、く、て、り、す、と、は、古、今、乃、風
作、を、さ、り、あ、ろ、ん、と、は、あ、ふ、と、あ、る、と、の、あ、る、べ、う、を、

撰者右同

五十三條の老のふんからなる勇士乃肖像に
 親父のふんとをそとくあつたのうーあをう

便令館湖鯉鮓大人撰
小本全

四季忠難の路どもをあるこゝろにわけてある人
 ところこのてふ人とあるき^{ききううかぎ}ねあるあまこゝろ帝上
 ところにて候ところんこゝろ小冊とあるこゝろひちめり

六冊

新編水滸画傳
曲亭馬琴譯
葛飾北齋画
十一冊

五冊

小本
一冊

寒燈と夜話
小栗外傳
小枝繁作前
葛飾北齋画
中十六冊後

全五冊

春宵ハルヨ玉タマ乃落穗ノオロモミ 右同
前編ゼンペン十冊ジュッソク

烏亭焉馬作
五冊

忠孝潮来府志

馬馬作 五冊

和朗詠集獨替古

全二冊

御成敗式目獨替古

全二冊

雜書年代記大成

一枚摺

画本葛飾文庫 前北齋戴斗差筆

當時流俗よりある人の画より異なり一流の風

画本外傳

前北齋戴斗差筆

風眼燕尾の筆まふあどくさのけく画なり



東都畫工

北齋改

葛飾戴斗



同 校合門人

魚屋北溪

尾陽名古屋校合門人

月光亭墨僊

文化十四年

丑孟春

江戸日本橋四市竹川藤兵衛

同本石町十軒店英屋平吉

名古屋本町七丁目永樂屋東四郎

江戸麹町平川二丁目角丸屋甚助

